

防災メモ

家族で話し合った結果を記入しておきましょう



●緊急時の情報共有方法

※例：171で家の電話番号を登録する、等

●家族が集まる避難場所

●緊急連絡先

名前	電話番号	メール・その他

●非常備蓄品

※備蓄している物にチェックを入れ、その他の備蓄品は備考欄に記入しましょう
※必ず事前に使い方を確認しておき、定期的に確認しましょう

- | | | | |
|--|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 水 | <input type="checkbox"/> 非常食 | <input type="checkbox"/> カセットコンロ | <input type="checkbox"/> ガスボンベ |
| <input type="checkbox"/> 非常用トイレ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> ビニール袋 | <input type="checkbox"/> 食品包装用ラップ |
| <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー | <input type="checkbox"/> トイレ用ペーパー | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 生理用品 |
| <input type="checkbox"/> 簡易下着 | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> ライター | <input type="checkbox"/> ポリタンク |
| <input type="checkbox"/> 毛布・エマージェンシーブランケット | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> 耳栓 |
| <input type="checkbox"/> その他 [] | | | |

弊社は「地域防災ステーション」として災害発生時に備え、テレビや照明が使える非常用電池や、近隣の皆様にもご利用いただけるトイレ等を準備しています。緊急時には一時的な避難場所としてご利用ください。



「地域防災ステーション」は日本木造住宅耐震補強事業者協同組合が進める地域の防災力強化プロジェクトです。



0120-249-761

(年中無休 9:00~18:00)

全国1100社のリフォーム会社ネットワーク



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

〒102-0083

東京都千代田区麹町2-12-1 グランアックス麹町7階

TEL: 03-6261-2040 FAX: 03-6261-2041

http://www.mokutaikyo.com/

E-mail: jimukyoku@mokutaikyo.com

木耐協は国土交通大臣登録の
住宅リフォーム事業者団体です



家族みんなで備えよう

地震防災ガイドブック



“防災”という言葉から、何をイメージされますか？

食料備蓄・防災訓練・避難所など・・・

このガイドブックで防災の優先順位を確認して、

ご家族みなさんで備えましょう！

まちと家とあなたを守る



地域防災 ステーション

1 「家」を安全な場所にしましょう

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、亡くなった方の8割は建物の倒壊が原因でした。家族が安心して暮らせる家にするために、耐震診断・耐震補強を行いましょう。

●耐震診断で家の耐震性を把握する

専門の業者に依頼して、家の耐震性がどのくらいあるかを調べます。家の外周・各部屋の状況・壁の材質・床下や小屋裏の状況などを確認し、専用ソフトで計算。結果は点数で表され、下の表のように4段階に区切られます。

診断の様子



診断結果報告書



総合評価

1.5以上	▶ 倒壊しない
1.0以上～1.5未満	▶ 一応倒壊しない
0.7以上～1.0未満	▶ 倒壊する可能性がある
0.7未満	▶ 倒壊する可能性が高い

●耐震補強で安全にする

診断結果で出た点数を上げるためには、強い壁を増やす、土台と柱をつなげる、腐った部分を交換する等の補強工事を行います。点数と予算だけでなく、これからの住まい方を踏まえてプランを立てることが重要です。



壁の補強工事の様子



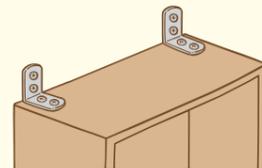
柱が抜けるのを防ぐ

2 「家具」が凶器にならないように固定しましょう

大きな地震の力で、テレビが飛んだりタンスが倒れたり、食器が飛び出したりします。それがケガ等の原因や避難の妨げになりますので、家具等の転倒防止はとても重要な対策です。

●L型金具でネジ止め

家具と壁を、金具とネジでとめる方法です。最も確実な固定方法です。



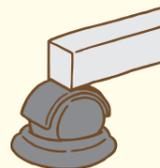
●つっぱり棒とストッパーで確実に固定

壁に穴が開けられない場合は、家具の上につっぱり棒をして、下にくさびの様なストッパーを入れると強度が高まります。



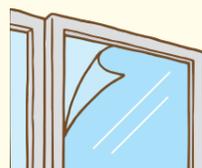
●キャスター付き家具はロックする

キャスターが付いた家具は大きく揺れ動きます。しっかりとロックして地震時に動かないようにします。



●ガラスに飛散防止フィルム

ガラスに飛散防止フィルムを貼って割れた時の被害を軽減することや、食器棚に耐震ラッチを取り付けて大きな揺れで開かないようにすることも重要です。



3 家族会議で決めておきましょう

在宅時・学校・勤務先など、いつでも地震に遭うかわかりません。その時に最も心配で不安になるのは“家族と連絡がつかない”ことです。焦らずに連絡を取り、慌てずに行動するために、家族会議で話し合っておきましょう。

●連絡方法を決めましょう

▶ 大規模災害が発生すると電話は繋がりにくくなります。NTTが提供する災害用伝言サービス(171&web171)や、携帯電話各社の災害用伝言板、スマートフォンの通話アプリなどの使い方を確認しましょう。

★あらかじめどのサービスを使うか決めておき、家族全員でテスト利用しておきましょう！

災害用伝言ダイヤル

171 web171 の
使い方のポイント

電話番号ごとに、安否や現在の状況を
録音&再生・登録&確認できる
サービスです。



●集合場所を決めましょう

▶ 自宅や学校・勤務先周辺の“避難所”や“避難場所”を確認しておき、家族の集合場所を決めておきましょう。

！豆知識

“避難所”…自宅生活が困難な場合に避難生活が行える場所
“避難場所”…一時的に避難する安全な場所

●災害発生直後は、無理をして移動せずに、状況が落ち着いてから移動しましょう

4 備蓄品や持出品を備えましょう

緊急事態から復旧するまで3日間かかるといわれています。その間の飲料水やトイレなど、優先順位をつけて準備をしましょう。また、避難所へ移動する時に持ち出せるように、リュックに必要なものをセットしておきましょう。

▶ 特に重要なのは、水とトイレです。水は大人で1日3リットル必要とされています。また、トイレは非常時でも我慢してはいけません。1人1日5～6回とされています。非常用トイレを多めに用意しましょう。

▶ 日頃の買い物の際、レトルト食品や缶詰・即席麺などを多めに買っておくと、それがストックになります。

▶ 年に1度は備蓄品を点検しましょう。賞味期限やラジオ等の動作確認などを行い、いざという時に使えないことがないようにしましょう。

